

科目名	博多学 Hakata's Culture and History	担当者	ウラベ ケンシ 占部 賢志	所属	PEB	学年	1-4/2	期別	後学期	必選	選択	単位	2
1. 到達目標及びテーマ 最近は、再び郷土への関心が強まっている。私たちが生活の基盤とする博多は、古来から九州の中心的な役割を果たしてきた地域であり、また、東アジアに開かれた玄関口として発展を続けてきたのは周知の通りである。歴史遺産は数多く、豊かな郷土文化が今日も受け継がれている。しかし一方で、そのいわれや歴史の消息を問われた時、分かりやすく説明出来ないトイウケースもしばしば見られる。そこで当科目の目標として、意外に知られていない「博多」並びに「大宰府」に関係する史蹟や歴史事件、人物などの実像に多面的な角度からアプローチすることで、郷土への関心と基礎知識を養成する機会としたい。ひいては博多の歴史ガイドが可能な資質が身につけば何よりである。したがって、当科目は卒業後の地域社会に生きるうえでの教養科目として位置づけられる。													
2. 授業概要 本年度は、博多をベースに関係する周辺地域も視野に入れてテーマを設定する。取り扱う時代は悠久の古代から近代に至る史実であるが、出来るだけ平易に楽しく解説したい。沖ノ島は別としてほかの歴史の舞台には気軽に訪ねることが可能な場所が殆どであるから、実際に足を運んで見聞することを勧める。時間が割ければ、オプションで現地への歴史探訪も出来ればと考えている。時には、受講生による歴史ガイドの発表会なども取り入れる予定である。													
3. 授業計画													
1	郷土学習の意義と方法	9	太宰府の溜池に見る先人の知恵 ・仕掛水路とそのハイレベルの技術										
2	海の正倉院「沖ノ島」 ・祭祀遺跡の特色	10	明治維新の先駆者 ・平野國臣の生涯										
3	遠き日の勇者の物語 ・白村江の戦いと大伴部博麻	11	薩長連合の先駆者 ・月形洗蔵とその同士たち										
4	福岡と対馬を結ぶ海の物語 ・玄界灘の波頭に散った荒雄	12	平尾山荘と明治維新 ・野村望東尼と高杉晋作										
5	大宰府の成立 ・その成立と役割	13	厳冬期富士山気象観測に挑む ・野中至・千代子夫妻の偉業										
6	福岡と万葉歌碑 ・歴史の息吹を読み解	14	元寇記念碑の由来 ・湯地丈雄と元寇										
7	蒙古襲来と博多 ・その消息と歴史的意義	15	テーマに基づくレポートの作成										
8	江戸時代の勤勉革命 ・宮崎安貞と『農業全書』	16											
4. 評価方法 テストは実施しない。評価の際は、関心・意欲・態度・理解・表現の5つの観点から、予習や講義中の取り組み、質問に対する応答などを3割程度とし、7割程度を課題発表やレポートの評価に充てる。													
5. テキスト及び参考書 主としてプリントを使用する。時に視聴覚教材も利用する。参考文献などは講義中に紹介する。													
6. 事前学習・事後学習 事前にプリント資料を配付するので、予習・復習を欠かさないこと。また、参考文献を紹介するので、読んで読解力を磨く習慣を身に付けること。													
7. その他 ・オフィスアワー：前学期（火曜日12:15～16:20）後学期（火・水曜日12:15～16:20） ・郷土はあなたの心のふるさとです。これを機会に郷土再発見の学びを堪能して欲しい。													